

## 協 議 会 会 議 記 録

|              |  |
|--------------|--|
| 会 議<br>名 称   | 第 1 回 上里町地域公共交通活性化協議会  |
| 日 時          | 平成 28 年 5 月 17 日（火）午後 2 時 00 分～午後 3 時 50 分   |
| 開 催<br>場 所   | 上里町役所 4 階 大会議室   |
| 会 長<br>副 会 長 | ○高 野 正 道 上里町 副町長<br>○百 花 博 美 上里町区長会長   |
| 出 席<br>委 員   | ○花 形 宏 一 上里町老人クラブ連合長<br>○堀 込 明 子 上里町身体障害者福社会長<br>○鈴 木 貴 大 株式会社協同バス 代表取締役社長<br>○金 子 秀 和 株式会社協同観光バス労働組合 執行委員長<br>○柳 瀬 光 輝 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局支局首席運輸企画専門官<br>○木 村 良 雄 埼玉県本庄県土整備事務所道路部 道路部長<br>○金 子 隆 本庄警察署 交通課長<br>○畦 地 英 樹 埼玉県企画財政部交通政策課 主査<br>○稲 岡 信 行 上里町まち整備課長<br>○阿佐美 由 紀 上里町高齢者いきいき課 高齢介護係長（※代理出席）<br><div style="text-align: right;">※敬称略・順不同</div> |
| 欠 席 者        | ○高 橋 直 樹 朝日自動車株式会社 代表取締役<br>○小 林 了 一 有限会社本庄合同タクシー<br>○鶴 岡 洋 一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事<br>○高 原 昭 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事<br>○神 宮 つぐよ 本庄地区タクシー協議会長<br>○久保田 尚 埼玉大学大学院  |
| 傍 聴 者        | 0 名  |

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">会 議<br/>次 第</p> | <p>1. 開 会</p> <p>2. 委 嘱 状 交 付</p> <p>3. あ い さ つ</p> <p>4. 議 事</p> <p>    (1) 報告事項</p> <p>        報告事項 1 上里町コミュニティバス「こむぎっちゃん号」運行及び利用状況 <span style="float: right;">資料 1</span></p> <p>    (2) 協議事項</p> <p>        協議事項 1 平成 27 年度上里町地域公共交通活性化協議会事業報告 <span style="float: right;">資料 2</span></p> <p>        協議事項 2 平成 27 年度上里町地域公共呼応通活性化協議会歳入歳出決算報告 <span style="float: right;">資料 3</span></p> <p>        協議事項 3 平成 28 年度上里町地域公共交通活性化協議会事業計画（案） <span style="float: right;">資料 4</span></p> <p>        協議事項 4 平成 28 年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案） <span style="float: right;">資料 5</span></p> <p>        協議事項 5 上里町生活交通確保維持改善計画【平成 29～31 年度分】（案） <span style="float: right;">資料 6</span></p> <p>        協議事項 6 利用者アンケートの実施について（案） <span style="float: right;">資料 7</span></p> <p>    (3) その他</p> <p>5. 閉 会</p> |
| <p style="text-align: center;">配 布<br/>資 料</p> | <p>○資料 1：上里町コミュニティバス「こむぎっちゃん号」運行及び利用状況</p> <p>○資料 2：平成 27 年度事業報告</p> <p>○資料 3：平成 27 年度歳入歳出決算について</p> <p>○資料 4：平成 28 年度事業計画（案）</p> <p>○資料 5：平成 28 年度歳入歳出予算（案）</p> <p>○資料 6：上里町生活交通確保維持改善計画【平成 29～31 年度分】（案）</p> <p>○資料 7：利用者アンケートの実施について（案）</p>  |

| 発 言 者                                      | 発 言 内 容 等  |
|--|--|
| <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>委員<br/>(運行事業者)</p> | <p>資料確認</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 委 嘱 状 交 付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5号委員 上里町区長会長 百花博美</li> <li>・ 6号委員 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局首席運輸企画専門官 柳瀬光輝</li> <li>・ 7号委員 埼玉県本庄県土整備事務所道路部長 木村良雄</li> <li>・ 7号委員 上里町まち整備課長 稲岡信行</li> <li>・ 8号委員 本庄警察署交通課長 金子 隆</li> <li>・ 10号委員 上里町高齢者いきいき課長 山口圭子</li> </ul> <p>副会長及び監事の選出・承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副会長 百花委員</li> <li>・ 監 事 山口委員</li> </ul> <p>3. あ い さ つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長あいさつ</li> <li>・ 委員、事務局自己紹介</li> </ul> <p>4. 議 事</p> <p>議長 議事に入る。報告事項1、上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行及び利用状況について。<br/> (1)「こむぎっち号」の運行状況についてを運行事業者である(株)協同バスの鈴木委員に求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行事業者の社名変更について<br/> 株式会社協同観光バスと株式会社協同バスが3月1日に合併し、株式会社協同バスに統一したことによるもの。</li> <li>・ こむぎっち号の事故報告について<br/> 4月23日土曜日午前7時30分、北部ルートが始発地に向かう回送中に町内交差点で信号無視の車に側方から衝突される事故に遭った。これにより車両の前側部分が大破。回送中のため幸い乗客は乗っていなかった。また、バス車両の速度が出ていなかったため、乗務員の怪我は全治5日間程度の軽症であった。車両は現在、板金工場にて修理中だがゴールデンウィークを挟むため修理には1か月弱を要する。その間、利用者にはご不便をかける事となるので、何卒ご容赦いただきたい。<br/> 事故の状況について知りたい方はドライブレコーダーの映像を持ってきているため、会議終了後にお申し出いただきたい。</li> </ul> <p>利用者数について当初、1日あたりの利用者数を町内巡回バスの倍と考えていたが、現状は届いていない。県内8ヶ所のコミュニティバスを運行している経験からいうと、時刻やルートなどが変わった際は必ず利用者数が落ち込む。それが変更前の数字に戻るには、早くて3ヶ月かかる。時刻、ルート両方変わった場合は、概ね半年間を要するのが一般的。とすると、こむぎっち号は町内巡回バスから車両、料金形態、ルート、時刻が全て変わったため、恐らくだが前の利用者人数を超えるまでにはあと数ヶ月程かかると思われる。</p> <p>一方車両のラッピングデザインは好評で、これにより上里町のバスが認知され、広まってくれば利用者の伸びも顕著になるのではと期待している。</p> <p>そして、実際運行をしている中での感想だが、当初懸念していた国道17号の渋滞</p> |

|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>等によるバスの遅れについては、大型トラックの事故により渋滞した日以外は、目立った遅延は発生していない。深谷市や熊谷市では、道路渋滞による遅延が大きな問題となっているが、こむぎっち号では問題なく定時で運行できている。</p> <p>また、乗務員からは利用者から乗り方が分からないという声を受けることが多いと聞いている。これに対し、乗務員と分かりやすい案内の作成について検討している。</p>   |
| 議 長            | <p>運行事業者からの運行状況等の報告について、委員から何かあるか。意見がないため、次に利用状況について事務局の説明を求める。</p>   |
| 事務局            | <p>(資料1(2)について説明)</p>   |
| 議 長            | <p>説明にもあったが、こむぎっち号の運行開始からまだ2ヶ月であるため利用者数は未知の部分がある。まずはバスの周知活動が大事であると思うが、これは委員から話があったとおり、こむぎっちのラッピング効果で多くの町民から注目を集めている。私も町民の方からラッピングについてお褒め頂くこともある。しかし、注目度が高まったことにより、乗客が乗っていない場面を指摘されることが増えているのも事実。利用者の増加策については、安定した運行をしつつも、運行事業者である協同バスと協力しながら進めていかなければならない。</p> <p>委員から利用者増加に結びつく、良い案があれば意見をお願いしたい。</p>  |
| 委 員<br>(運行事業者) | <p>先ほどの利用状況に関係するが、町内巡回バスからの大きな変更点として利用料金の発生がある。26年度のアンケートで有料に関しては63%の方が賛成としているようだが、実際のところ乗客から料金に対する苦情は出ていない。</p> <p>一方、1乗車100円、1日乗車300円といことで乗り継ぎが発生すれば片道200円かかり、帰りも乗り継げば合計400円かかるため1日乗車券利用の方が100円お徳となるはずだが、実は1日乗車券の売り上げが芳しくない。恐らく片道のみ利用や乗り継ぎが発生しない。あるいは、各ルートで利用が完結しているということもあるかと思う。</p> <p>我が社では、県南の上尾や桶川のコミュニティバスも運行している。上尾や桶川は人口が多く、人口密度も高いため1台のバスが1日で200人弱乗る日がある。今日のように通勤通学時間帯に雨が降ると、バスに乗り切れない場合もある。人口が多い地域は漁でいうと投網漁で充分魚が入ってくるが、比較的人口密度が低い地域では、一本釣りでやっていくしかない。地域の方々が求めている行き先を探って、経路を設定するなど、一本釣りの対応が必要なのではないか。それが、今回事務局で取り組む「わたしの時刻表」というようなものだと思う。</p> <p>地道な努力となるが、こむぎっち号には必要なことであって、結果上里町の方々の利便性向上につながると思う。</p> |
| 議 長            | <p>他に委員から、意見等はないか。</p>  |
| 委 員            | <p>どの場所が、一番乗車が多いのか。</p>   |
| 委 員            | <p>ユニクスが一番多いと思われる。神保原駅北口からイオンタウン間、それから神保原駅南口からユニクス間が多い。また、北と南ルートの乗客は、特定の利用者が多く保育園まで利用される方。かみさと荘まで利用されるお年寄りの方。その中には90歳を超えた方もいて、既に乗り方を乗務員より熟知している。</p>  |
| 委 員            | <p>他の市町村でも、やはり利用率が問題点となっている。無料の巡回バスを有料化するというケースも増えているので、これを維持していかなければならない。やはり、地域の公共交通というものは地域の人々が育てていかななくてはならないと思う。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>利用率を増やさなければ維持が困難であり、利用すればするほど改善の余地が出てくる。すると利用率が良くなり、コースの変更や便数を増やすこともできるという事になる。具体的は意見はないが、やはり町民の方に利用を促進していき、「自分達の町の足は自分達が育てる」という考えも持っていただけるよう広報を展開してほしい。</p>  |
| 議 長 | <p>事務局から他に利用促進について何かあるか。現時点だと、乗り方のPRが第一段階だろうか。</p>   |
| 事務局 | <p>やはり、周知が必要だと考える。まずは、毎月の広報でバスの記事を載せていくことを予定している。あとは、学校からバスを使った課外授業等をしたいという話も伺っている。役場の事業なども活用し、とにかく一度乗ってもらうことが一番と考えている。</p> <p>また、利用者は高齢者がメインとなるため、基本的なバスの乗り方案内をホームページに掲載した。しかし、高齢者は携帯電話やパソコンでホームページを見ることは少ないと思われるため、明後日に開催される老人クラブの連合会大会で乗り方案内を配布する予定。</p>  |
| 委 員 | <p>運行日が月曜日から土曜日となっていて日曜日は運行していないが、先ほど利用の多いバス停がショッピングモールであった。となると、日曜日に走らせた方が利用が増えるのではないかと。予算の都合等もあるかと思うが、なぜ日曜日が外れているのか教えてほしい。</p>   |
| 事務局 | <p>察しのとおり、予算的な制限から週7日の運行は不可能であった。だが、利便性向上のため町内巡回バスの平日5日運行から週6日への運行日拡大については、最初の段階で決まっていた。</p> <p>曜日の選択については、町内巡回バスの利用者の中でメインとなっていた老人センター利用者のことを考えて平日カットは考えなかった。次に、土日どちらを運行させようかとなった時、利用者の多くが高齢者であるため、通院を考慮して土曜日運行とした。ちなみに町内のクリニックはほとんどが土曜日に開院している。</p> <p>今後利用が伸びていけば週7日運行の検討も出てくると思う。また、今後の利用実績で、例えば月曜日の利用が少ない状況であった場合、そして土曜日の利用が多いということであれば、バスの存続という観点から利用の少ない月曜日を運休とする検討もあるかもしれない。以上のことから、まずは町内巡回バスと同様に平日運行と、通院を考えて土曜日の運行としたところ。</p> |
| 議 長 | <p>よろしいか。</p>  |
| 委 員 | <p>はい。</p>   |
| 議 長 | <p>他に何かあるか。</p>  |
| 委 員 | <p>埼玉県内の交通人身事故が3番目に多い上里町のことを考えると、警察も人身事故を少なくするべく努めているが、多くの方がこむぎっち号に乗っていただき、歩行者や自転車の被害が少なくなってほしいと思っている。そのため、是非運行を促進してほしい。こむぎっち号の利用の頻度を上げ、道路上の危険な場所に自転車や歩行者が立入り、危険な目に遭わないようにしてもらえればありがたい。</p>  |
| 委 員 | <p>身体障害者と高齢者の場合、前のバスは乗り降りが慣れていたため問題はなかった。しかし今度のバスは危ない。シルバーカーを使った場合、自分がやっと乗るのにシルバーカーを自分で持ち上げて、バスの中に入れるということは中々できない。ま</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
|               | た、乗るときは良いが、降りる時は段差が3段あるため、転んで尻餅をつきそうで怖い。なので、今はあまり乗らないようにしようかと考えてしまう。そのあたりを運転手に頼んでも良いのか。   |
| 委員            | 現在利用のバスは中央ルートですか。   |
| 委員            | はい。   |
| 委員<br>(運行事業者) | こむぎっち号の運転席の後ろには、シルバーカーなど大きい荷物を積めるスペースを確保している。また、運転手の中で利用者はお年寄りが多いので、手伝えるところはやろうという話もしている。<br>ワンボックスバスについては、荷物置き場はスペース的に取れないため期待に添えないところもある。 |
| 委員            | 分かりました。   |
| 議長            | そのようなわけなので、委員も是非乗っていただきたい。  |
| 委員            | 我慢して乗せてもらっている。歩けないので。なので、そのあたりを検討してもらえればと思う。  |
| 委員<br>(運行事業者) | はい。   |
| 議長            | 他の案件もあるためここで締め切るが、他に利用者増加につながるような案があれば、事務局までお願いしたい。   |
| 議長            | 協議事項に入る。協議事項1平成27年度上里町地域公共交通活性化協議会事業報告並びに協議事項2平成27年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告について一括協議とし、事務局に説明を求める。   |
| 事務局           | (資料2、資料3の説明)  |
| 議長            | 監査委員に決算監査報告を求める。  |
| 委員<br>(監査)    | (決算監査報告)  |
| 議長            | 協議事項1並びに協議事項2及び監査報告に対する委員から質疑等あるか。  |
| 一同            | (なし)  |
| 議長            | 「なし」との発言があったため、承認の決をとる。承認者の挙手を求める。<br><br>(全員挙手)  |
| 議長            | 全員の挙手により原案のとおり承認された。<br>続いて協議事項3平成28年度上里町地域公共交通活性化協議会事業計画(案)並びに協議事項4平成28年度地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)について同じく一括協議とし、事務局に説明を求める。                    |
| 事務局           | (資料4、資料5の説明)  |

|     |   |
|-----|---|
| 議 長 | <p>ただ今の説明に対し委員の質疑を受けつける。質疑はないか。質疑がないため、承認の決を取る。承認者の挙手を求める。</p> <p>(全員挙手)</p>  |
| 議 長 | <p>全員の挙手により協議事項 3、協議事項 4 は原案の通り承認された。続いて協議事項 5 上里町生活交通確保維持改善計画平成 29 年から平成 31 年度分について事務局の説明を求める。</p>   |
| 事務局 | <p>(資料 6 の説明)</p>   |
| 議 長 | <p>補足だが、去年は計画の素案について協議会で承認し、パブリックコメントを経て策定をした。素案の段階では、運行事業者なども決まっていなかったため事業内容を承認していただいた。今回の計画には、より具体的な内容が入っている。しかし、3 ページ 2 の「定量的な目標」については、2 ヶ月の運行実績のみであるため、目標値を算出する際は町内巡回バスがベースとなっている。来年度からは、目標や効果の検証作業が入ってくるため、現時点であまり大きな目標を立てることはできないが、今後コミュニティバスの周知、利用の定着がされることにより、潜在的な利用者数がハッキリしてくるものを思われる。</p> <p>では、計画案について委員の意見や質疑を受け付ける。質疑がないため協議事項 5 について承認者の挙手を求める。</p> <p>(全員挙手)</p> |
| 議長  | <p>全員の挙手により上里町生活交通確保維持改善計画案は原案の通り承認した。最後に協議事項 6 利用者アンケート調査（案）について事務局の説明を求める。</p>  |
| 事務局 | <p>(資料 7 の説明)</p>   |
| 議 長 | <p>事務局の説明に対し委員から質問や追加した方が良い項目などについて、意見を受け付ける。</p>   |
| 委 員 | <p>目標調査人数が 50 人とあるが、これは妥当性として大丈夫か。</p>  |
| 事務局 | <p>調査人数については、重複回答をありとするか、なしとするかによるところが大きい。例えば重複なしとした場合、50 人が妥当かと考える。根拠としては、平成 26 年度に行った町内巡回バスの利用者アンケートがある。確保維持改善計画の 6 ページに記載があるとおりの、この時は 5 日間実施し、重複なしで 61 人回答が得られた。町内巡回バスの利用者は日平均 40 人以上いたが、その状態でこの位の回答が得られたということ。</p> <p>50 人の妥当性については、実際に調査を行いどの程度の回答が得られるか、期間を 1 ヶ月取っているため、調査の信頼性を考えた時、もう少し回答が必要なのではないかという事であれば、案には 50 人となっているが 50 人以上とし、調査日数も増やして実施することも可能である。</p>          |
| 議 長 | <p>では、案は 50 人だが、これを 50 人以上として実施するという事でよろしいか。日数については、3 日間程度とあるが、それも含めて日数の上乘せがあれば、そのようにするという事でよろしいか。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | はい。  |
| 議長  | 他に意見等あるか。  |
| 委員  | (目標調査人数が) 50 人とあるが、ルートが 3 ルートあるためルートごとの目標調査人数を設定するのか。  |
| 事務局 | これは、重複ありかなしかの部分に関係してくるが、支線ルートの利用者は、ヘビーユーザーが多いため重複なしの場合取れる回答数が少なくなると考えられる。そのため、ルートごとの目標人数の区分けは行わず、全てのルートで 50 人とした。<br>また、調査期間に土曜日を含めれば、ファミリー層の利用など客層が変わってくると思うので、3 日間の内 1 日は土曜日を入れる予定である。   |
| 委員  | 今回のアンケートはこむぎっち号全体の意見を取るとのことだが、もしかしたら北部や南部ルートのみを使っている人の方が貴重な意見を持っている可能性もあると思う。実は改善するのはそちらの方かもしれない。車両の大きさもあると思うが、(支線の方が) 利用者数が少ないということで、これを上げるためには、支線地域の特色から何か改善につながる意見が出るかもしれないため、場合によっては特化したアンケートを取るというのも手なのかと思う。要は北部と南部ルートの方達に特化した問題点があるのではないかということ。その辺りが、うまくこのアンケートに組み込めれば良いかなと思う。   |
| 事務局 | アンケートの調査項目には利用するバス停があり、そこから回答者がどのルートを使ったのかが分かると思う。どういった方がどういった改善点を求めているのか分析していけば、ある程度だがルートごとの問題点、ルートごとの課題というものを洗い出すことは可能であると思う。やはり、ルートごとの課題はあると思うため今回のアンケートからある程度の洗い出しを行い、回答数が必要となれば対応は可能かと思う。   |
| 委員  | 同乗調査とあったので、その辺りをうまく分けて調査をして最終的に調査結果が事務局の言う内容で把握できれば、より効果的なのかなと思うので是非お願いしたい。  |
| 事務局 | はい   |
| 委員  | このアンケートは決められているので行うものかと思うが、もし時間があれば「あなたはなぜ利用しないのですか」というアンケートの方が良いのではないかと思う。先にも話したが県南は投網なので満足度を計り高い低いで選別して、その通りに運行ルートを再設定すれば良いと思うが、このエリアは一本釣りかと思うので、例えばかみさと荘にバスを利用しないで来ている方に対し、「なぜバスを使っていないのか」と聞くと、『近くにバス停がないから』『時間が合わないから』『お金を払わなければならないから』等色々意見が出ると思う。ユニクスでは人も多いのでたくさん聞けるかと思うが、逆に多すぎてしまい、ほとんどの理由が車が運転できるからになるかと思う。となると、かみさと荘が保健センターなのかと思う。そういったところで、「なぜ利用しないのか」と、「どうすれば利用するのか」を聞いていただきたい。 |
| 議長  | 少し、違う方向のアンケートとなるが事務局どうか。   |
| 委員  | いいですね。   |
| 事務局 | 利用している方は利用についてメリットがあるから利用していると思う。報告事項  |



|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>委員<br/>(運行事業者)<br/>委員</p> | <p>にもあったが、利用者数が伸び悩んでいる中で、利用していない理由を明らかにすることが、我々の打つ手、対策のヒントになると思うため、アンケートの実施については、場所、方法、時期等含めて検討していきたい。</p> <p>ウチからも人を出すなど手伝えることも考えられるためよろしくお願ひしたい。</p> <p>今回の調査は、確保維持計画に関する調査なので、予定されていたものであればこの調査はこの調査で実施は良いと思うが、それとは別に委員の言う内容のアンケートを行うことも可能かと思う。</p> <p>後は、先ほどの話にもあったがシルバーカートが乗せられないから利用しなかったという意見は非常に重要な意見だと思う。このように乗り辛いという意見があったということは、逆にその方を拾い上げれば利用者が増えるということになる。苦情はチャンスであると思う。アンケートや苦情の内容を検討し利用者促進につなげていくことがチャンスであると思うので、そういったアンケートを行った方が、より利用率向上につながるのではないかと思う。</p> |
| <p>議長</p>                    | <p>では利用者アンケートについては、このアンケートと別途、利用しない方へのアンケートの実施について今後検討するというところでよろしいか。</p> <p>質問等がないようであるため、承認の決を取るがよろしいか。</p> <p>利用者アンケート調査の実施（案）について承認者の挙手を求める。</p> <p>(全員挙手)</p>  |
| <p>議長</p>                    | <p>全員の挙手により利用アンケート（案）は承認された。なお、アンケートの結果については、次回の協議会において示す。</p> <p>最後に4 その他だが、次回の協議会は9月の中旬から下旬の開催となるためお願ひしたい。</p>  |
| <p>副会長</p>                   | <p>5. 閉 会</p>   |

以上